

門司麦酒煉瓦館の利活用に向けたサウンディング調査(対話型市場調査) 結果概要

北九州市立門司麦酒煉瓦館及び駐車場(北九州市門司区大里本町)の利活用に向けたサウンディング調査の結果を取りまとめましたので、概要を公表いたします。

1 募集の経緯

門司麦酒煉瓦館は、現在指定管理施設として運営していますが、(1)利用者減少による収支状況の悪化(2)施設の老朽化(3)展示物の魅力低下(4)ウイズコロナ時代の新しい生活スタイルへの転換等の課題を抱えており、今後の施設としてのあり方や運営手法について検討していたところです。

そこで民間事業者への貸付を行った場合、どのような利活用の方法があるかについて、広く意見をうかがうサウンディング調査を実施しました。

2 サウンディング調査結果

- (1)意見募集期間 : 令和4年8月16日(火)~10月31日(月)
- (2)見学会参加事業者 : 12団体
- (3)提案事業者 : 6団体
- (4)提案事業者との個別対話を行った結果、以下のような意見がありました。

【主な内容】

- ・利活用のためには、市による改修工事を条件とすべき
- ・以下の用途での利活用は見込める

【門司麦酒煉瓦館】 展示室やギャラリー、貸館

【駐車場】 現行の駐車場機能に加え、新たな飲食店舗を設置

- ・対象施設のみで商業・観光施設として活用することは難しい
- ・地域コミュニティ施設としての活用は可能

3 今後の対応

民間事業者による利活用の可能性があることから、土地・建物の貸付を前提とした企画提案型の公募を進めていく予定です。そのため、いただいた意見を参考に、具体的な公募条件等を精査します。